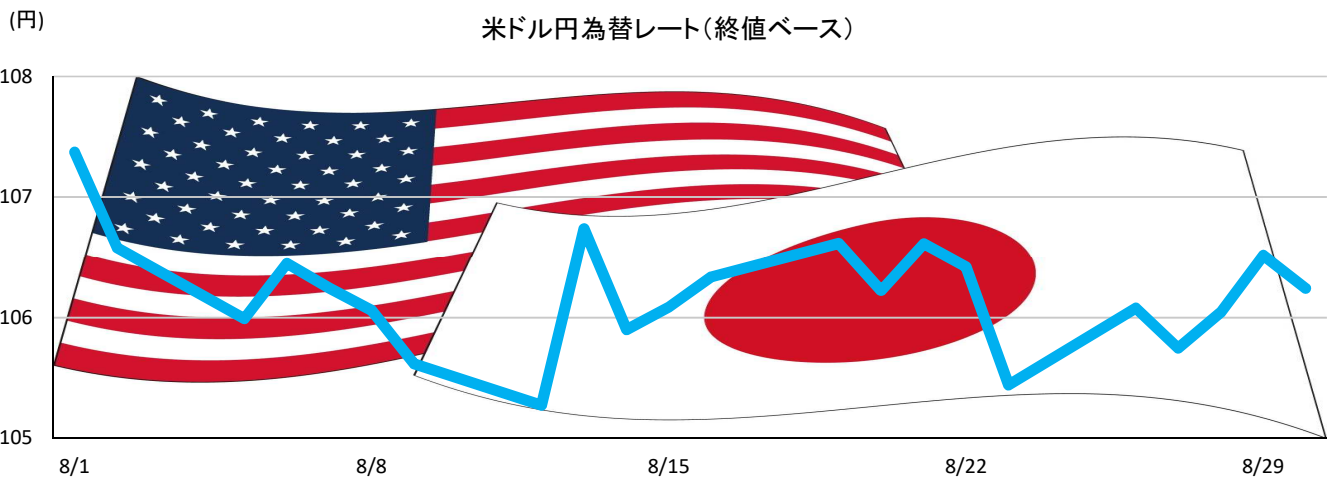


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**8月のドル円相場は109円前半～105円前半で推移。FOMC後のパウエルFRB議長の発言を受けてドル買いが進んだが、トランプ大統領が中国への制裁関税をツイートしたことで状況が一変。中国も報復となる対抗措置を発表したことで、米中貿易問題が激化。追加の米利下げ観測と相まって、105円台まで円高ドル安が進んだものの、一部の制裁関税発動延期との発表により悲観論が後退し、ドルは一時買い戻された。ただ、米中貿易問題については一進一退の動きが続いており、一つの報道や発言等で乱高下する展開。月末にかけてドル円は104円台まで円高ドル安が進行したが、年初の104円台前半に届かなかったことや米中関係改善の期待感もあり、ドルが買い戻され106円台を回復した。



## EXTRA VISION

**今後の展開：**米中貿易協議の進展期待感を受けて米株高の動きとなり、これに連動したドル買いへ流れが傾きつつあるとはいえ、楽観できない。協議が難航すれば、期待感で買われているドルを売る動きが想定されるため、今後の協議の行方が気になるが、その前にFOMCの結果に注目しておきたい。今回のFOMCで利下げはないとみられるが、利下げサイクルに入ったと受け取られる発言等があった場合には、再び米株高によるドル買いと金融政策によるドル売りの攻防となる可能性があるため、発表内容を見極めたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
9 / 26 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
9 / 27 (金)	21 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
9 / 30 (月)	17 : 30	GB	英GDP改定値	☆☆☆☆
10 / 1 (火)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
10 / 4 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
10 / 10 (木)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
10 / 16 (水)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。